

スクーバダイビング in 冠島

9月15日(火)、海洋技術コース3年生が、上級ダイビングライセンス取得に向けて、若狭湾の冠島にて潜水実習に取り組みました。当日は、最大水深約30mのダイビングになりました。実習船「かいよう」に乗船し、冠島までの移動時は、3年生全員が緊張した様子でした。ダイビングポイントにアンカーを落とし、セルフチェック・バディチェックを入念に行い、エントリーすると、海中は透明度抜群、見たこともないような素晴らしい景色が広がっており、大感動の連続、潜水約30分間はあっという間に過ぎていきました。皆さん、是非海洋技術コースで、ダイビングをしましょう。



無人島・冠島は関西有数のダイビングスポットです。

高大連携事業

9月16日(水)、海洋科学科2年生が京都先端科学大学 亀岡キャンパスを訪問しました。バイオ環境学部 学部長 田中 和博 教授、同学部 高澤 伸江 准教授より、人々の暮らしが河川や海に与える影響についての講義を受けました。海洋科学科の研究活動「海洋ごみ問題」の一端であるマイクロプラスチックについての最新の研究も御紹介いただきました。海洋科学科の生徒の多くが大学進学を目指しています。しかし、オープンキャンパスの中止やオンラインでの開催となる中で、「初めて大学に行った」という生徒がほとんどでした。今回の大学訪問は、専門性を高めるとともに、大学進学への意欲向上につながる大変有意義なものになりました。なお、京都先端科学大学と本校海洋科学科は、連携協定を締結しています。



2年次から大学進学の準備は始まっています。

掃除は飼育管理の基本です

9月18日(金)、栽培環境コース2、3年生が海水送水管及び生海水タンクの掃除を行いました。順調に海水を取水するには必要な作業で、陸上水槽での飼育管理では、水槽の掃除だけでなく、周辺施設の管理を行うことが大切です。配管内には貝類等の付着生物が多く付着し、タンク内には泥が堆積していましたが、経験のある3年生が2年生に的確な指示を出し、協力して掃除を行うことができました。2年生は来年に今回の経験を生かしてほしいと思います。



栽培漁業実習棟内の魚たちに新鮮な海水を送ります。

在校生からのメッセージ

海洋学科群 1年 吉田弥椰 (江陽中学出身)

私は今、勉強と部活動の両立をがんばっています。学習面では、普通教科はもちろん、海に関する実習や座学にも力を入れています。水産海洋基礎の実習では、カッターを漕いだり、出刃包丁を扱ったりするなど、危険を伴うとともに大変な内容もたくさんあります。でも、それ以上に、できなかったことができるようになったりして、達成感が得られることができ、とても楽しい毎日です。学習面だけでなく、私が所属しているバドミントン部の活動でも同じことが言えます。私がバドミントン部に入った理由は、バドミントンは高校から始める人が多く、自分ががんばったら、がんばった分だけ上達できると思ったからです。さらに、先輩たちがとても優しく、気楽に話ことができ、雰囲気がいいなと思ったからです。水産の実習やバドミントンは高校から始める人がほとんどなので、初めての人でも、ぜひ見学や部活動体験に来てみてください。



卒業生からのメッセージ

東京国際大学 スポーツ科学科 井崎茅夏 さん
平成28年度卒 (城北中学出身)

私は、京都府立海洋高等学校食品経済コースを卒業して、現在は、東京国際大学で学んでいます。高校時代は、ウエイトリフティング部に所属し、全国優勝し、世界大会に出場することと勉強との両立を目標に掲げていました。現在でもウエイトリフティングを続け、2024年のパリオリンピックに出場することが目標です。海洋高校では、社会人としての基本を授業や部活動を通して学びました。また、資格取得など目標に向かってがんばる仲間や応援して下さる先生のおかげで、多くのことにチャレンジする雰囲気があります。中学生のみならず海洋生のみならず海洋高校で夢に向かって多くのことにチャレンジし、有意義な3年間を過ごして下さい。



海洋グルメ <いちご貝やき>

令和2年度、「第11回全国高校生和菓子甲子園近畿大会」に出場した作品です。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、過剰在庫となった栗田産のイチゴ(章姫)の消費を目的に、食品経済コースの2年生伊達莉菜(江陽中学出身)さんと清家風香(宮津中学出身)さんが開発しました。写真映りを考え、黄色いハチミツと緑のナンテンの葉で彩っています。



材料(4人分)

薄力粉 90g 玉子 1個 上白糖 40g ハチミツ 大さじ1
みりん 大さじ1 重曹 小さじ0.5 粒あん 80g イチゴ 14個

作り方

- イチゴ10個を薄切りにして180℃のオーブンで5分間加熱し、水分を飛ばす。
- ボウルに玉子を溶いて、上白糖をすり混ぜる。
- ハチミツとみりんを加える。
- しっかりと泡立て、水25ccで溶いた重曹を加える。
- ふるった薄力粉と1のイチゴを入れ、さっくり混ぜる。
- ラップに包み、生地を15分間休ませる。
- 少し水を入れ、生地を薄く伸ばす。
- シエル型に入れ、170℃のオーブンで15分間焼く。
- 粒あんに水を少し入れ、柔らかく練る。
- 焼き上がった8に9を塗り、1/2にカットしたイチゴを挟む。
- ハチミツを振りかけて仕上げる。

今月のおすすめ本～図書室から～

『か「」く「」し「」ご「」と「』
住野よる著 新潮社

自分だけの特別な力と小さな「かくしごと」が高校生活で交錯していく…
白数 湖々
(橋立中学出身)



『ダレン・シャン』 ダレン・シャン 著 小学館
これは私が「本は面白い!」と思い、本を読むきっかけとなった小説です。私たちと同年代の男の子の日常が一夜にして一変してしまう、ハラハラ、ドキドキが止まらない壮絶なストーリーです。児童書でも読みやすいため、本に苦手意識を持っている人にもおすすめです。文庫本もありますが、表紙が綺麗で、つい集めたくなくなってしまいう単行本でぜひ読んでほしいと思います。中島 美幸 (栗田中学出身)

今月の風景～文化委員から～

今月の写真は1年生が担当しました。これまでの2、3年生から学んだことを活かし、秋を彩る美しい作品を仕上げることができました。



「コウノトリ」1年3組 袖長 楓 (田辺中学出身)

実習レポート

■2年「ダイビング」■9月10日(木)
■海洋技術コース2年 ■宮田 結璃 (加佐中学出身)
■実習内容 スクーバダイビング
■今日は海に出てダイビングをしました。透明度もとてもよく、波の高さもあまりありませんでした。反省点として、バディとの協力は行えましたが、上下になって離れて移動したこと、中性浮力が取れずに海を濁らせてしまったことです。実習中はいろいろな種類の魚を見ることができました。今後は、魚の名前まで分かるようになっていきたいです。次回もこれらの反省点を生かし、いい実習にしていきたいです。



校長室より

コロナ禍にあってオンライン授業など対面形式ではない学習方法が増えていますが、本校では実験・実習の充実のための工夫が重要だと考えています。例年と同じようにはできなくても、限られた機会を大切に、感謝の思いを持ちつつ活動に取り組む生徒たちを誇らしく思います。活動や交流の幅が広がるほど、感染リスクに配慮しなければなりません。それこそ今後役に立つ学びなのかもしれません。感染拡大への警戒はまだ続きます。身近なところに喜びを見出し、ストレスを低減しながら前向きな日々を過ごしてほしいと願っています。